

## 【22\_045/技術系メルマガ】『目線切替え』ってどうやるの？

〇〇さん

こんにちは、クロガキ(クロ)です。

メルマガを登録して頂く際に、今の悩みなどを備考として書いてもらう欄を設けているので  
ご新規さんの登録があるたびにチェックをしています。

その中でも 特に多いと感じる悩みの一つで

「目線を切り替えるタイミングが分からない」というものがあります。

確かに、「こうなったら買いの目線はなくなる」とか「ここから売りだ」という

目線の切り替えが早く、的確にできたらこれほど便利な事はありませんよね。

そこで今回は、僕がどんな考え方で『目線の切り替え』を行っているか？

という話をしていこうと思います。

□  
■ 『目線の切り替え』は、何といても『コイツ』が基本  
└──────────────────┘

最近、僕がキーワードとしてあまり出してなかったためか

どうしてもちょっと忘れられたり、軽く見られがちな ダウ理論(笑)

僕の中では『ライン引きの基本』であり『目線を定める基準』とも言える

最も重要な要素の一つとして捉えているのは、今でも変わりありません。

そして、このダウ理論が僕の中での『目線』を決める軸ともなっています。

この話を掘り下げる前に、先日モーニングライブで、『目線の切り替え』  
に関する基本的な概念の解説をしました。

▼2/11 モーニングライブアーカイブ▼

<https://youtu.be/8FMsag8djg8?t=51>

※最初の1分が無音なので、そこを飛ばしてリンク付けました(笑)

公式サイトや【デイトレ講座】のメールを熟読してくれた人は、理解してくれている事と思いますが  
ダウ理論に基づく『トレンド・波形』の認識が曖昧だと  
そもそも各定義に基づく水平線が引けないし、節目のラインが認識できません。

つまり、的確に『目線の切り替え』ができるようになるには  
自分の中での『明確な基準』に基づいたトレンド、節目の水平線の位置を  
【自分で決められる】状態にしなければいけないということです。

そして、これが一番大事な事なのですが  
『軸とする時間足の目線は決めたら動かさない』事を前提として  
『下位の時間足のトレンドの変化で“エントリーの目線”を合わせる』作業が  
一般的に【目線の切り替え】と呼ばれているものです。

ここで、『トレンド』を軸にして  
【軸とする時間足の目線】に沿って【目線の切り替え】をエントリーに結びつける  
考え方について、図を使って整理してみましょう。

▼上位足の『目線』と、下位足の『目線』を揃える▼

[https://kuro-gaki.com/muhai\\_saisoku/others/2022-02-13\\_2.png](https://kuro-gaki.com/muhai_saisoku/others/2022-02-13_2.png)

言葉で説明すると、かなり抽象的で分かりにくかったと思いますが  
こうして図にすると、もう少し分かりやすくなるのではないのでしょうか。

要は、軸とする時間足(僕の場合、日足~H4足)くらいの環境から

【軸となる目線】を決め、そこから『下位時間足のトレンド(目線)の切り替え』を確認し

エントリーポイントを探っていくのが基本的な動作となるわけです。

ここで多くの人が出来てしまいがちなのは【軸とする時間足の目線】をコロコロ切り替えてしまうことです。

H4足以上の上位トレンドというのは、そもそもそんなに短時間に変化するものではありません。

ですので、その日のトレードで【目線】を決め、その目線が否定された場合

逆方向にトレードできることは(一貫した目線でやっている限り)ほぼありません。

だからこそ、【軸となる目線がどっちを向いているか】を念頭に置いたうえで

【下位時間足のセットアップ】としての『目線』が揃っているのか?それとも逆張りなのか?

ここをしっかりと押さえたうえで、『このトレードをやるべきなのか』を考える。

自分なりの一貫性の中で意思決定する、ということを意識してもらえると良いのではないのでしょうか。

これもまた、一朝一夕で身に付く技術ではないので

今自分が「わかる・できる」ことと、そうでない事をしっかり仕分けつつ

ちょっとずつ出来る事を増やしていきながら取り組んでみてくださいね。